



ココに注目！令和4年度予算案

◎2月18日に開会された令和4年2月定例議会では、令和4年度の一般会計当初予算1兆2,664億円が審議されますが、その中でも私が注目をした新規事業を少し紹介します。その他にも、北橋市長より提案されたすべての事業に市民の税金が使われています。事業規模の大小にかかわらず、税金のムダ使いがないか事業の進捗やその成果についてしっかりと審査していきます。

暴力団員の社会復帰対策推進事業

【市民文化スポーツ局】 10,000,000 円

暴力団の弱体化を図るため、暴力団員の離脱・就労支援に関する相談窓口を設置。暴力団離脱者を雇用した事業者に対し、同離脱者の資格取得や引越し費用の一部を補助。

公民連携推進事業

【総務局】 6,100,000 円

民間事業者や広告代理店と連携した「提案型ネーミングライツ制度」を導入。公民連携ワンストップ窓口を設置し、民間の知見を活用し地域課題の解決を目指す。

新規就農者スマート農業チャレンジ

【産業経済局】 8,000,000 円

新規就農者がスマート農業技術を実地で学べるように総合農事センター内の温室に環境自動制御やAI・ICT技術等を導入する。

関係人口による地方創生加速化事業

【企画調整局】 16,000,000 円

国の「地域活性化企業人制度」を活用し、市役所に専門的な知見を持つ民間企業の人材派遣を受け入れ、地域の課題解決を図る取組を実施。



お知らせ

令和4年2月定例会は2月18日から3月24日までの会期で開催されます。

これからも地域の課題に全力で取り組みます。何かお困りことがあればお気軽にご連絡ください。

北九州市政に関するご意見・ご要望、身近な問題・課題などお聞かせください。

いずみひでお 事務所

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町1-27-23-101

E-mail 123hideo0104@gmail.com

TEL 093-967-6615

FAX 093-967-6698

いずみひでおのホームページ
http://123hideo-fukuoka.kikirara.jp



FaceBookにも日々の活動を更新中!

https://www.facebook.com/izumi.hideo



泉日出夫●1968年1月4日生まれ●広徳小、広徳中、倉工業高校、九州国際大学卒業●福岡県立豊津高校(現:育徳館高校)社会科講師を経て中小企業アドバイザーとして勤務●福岡県議会議員を2期8年●南方東町内会長、徳力校区自治連合会副会長、徳力地区教育関係者人権教育推進協議会会長、保護司、その他兼任



いずみひでお 市政報告

みらいへ、つなぐ、つながる。

北九州市議会議員



Hideo Izumi, Kitakyushu Municipal Administration Report

Vol.03

地域の皆さまからの相談を中心に活動しています

◎昨年の2月10日より北九州市議会議員としての任期がスタートし、早いもので一年が経過しました。新型コロナウイルス感染症の第3波期間中の「緊急事態宣言」下の選挙を経験し、一旦収束をしたと思った矢先の第4派の発生とワクチン接種の予約が取れないことが重なり、区役所には高齢者の長蛇の列ができ混乱を招きました。多くの市民の皆さまにご迷惑をおかけし、丁寧な報告ができないまま集団接種が実施されてきましたが、皆さまのご協力で2回目接種者が85%を超えています。その後、第5波、今年に入り感染力の強いオミクロン株の出現で第6波を迎え、引き続き予断を許さない状況が続いています。私はこの間、集団接種の予約のお手伝いや、事業者やサラリーマンの収入減少による支援金や協力金の申請相談、また、地域でお困りの道路の安全対策や除草工事、ゴミステーションの設置やゴミ出しマナーの問題、高齢者の介護や生活保護相談など様々ご相談をお受けいたしました。引き続き、初心を忘れず、地域の皆さまのお役に立てよう全力を尽くす決意です。今後とも活動へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

◎2月18日に始まりました令和4年2月定例議会でも、新型コロナウイルス感染症の関連予算が多く計上され、併せて北橋市長より4つの柱からなる予算編成の考え方が表明されました。まずは、「感染症に対して強靱で安心できるまちづくり」で、PCR検査・抗原検査を自己負担なしで実施できる体制を確保するとしています。2つ目には、「経済の好循環を生み出す成長戦略の実行」として、響灘沖に洋上風力を建設、2030年までに「公用車の電動化100%」目指すとしています。また、3つ目の柱として、「日本一住みよいまちの実現の総仕上げ」としてSDGsを原動力とした地域活性化を図るとしています。4つ目は「DXの推進」です。デジタルの活用で市民サービスの向上に取り組むとしています。いずれのテーマも、北九州市にはなくてはならない課題で、2月定例議会ですっかり審議いたします。これからも、地域の皆さまのくらしや仕事に密着したお悩みや疑問を市政に反映させていただきます。

いずみひでお



はなのおかこうえん
昨年5月に新名称「花農丘公園」に決定した北九州市立総合農事センター

入園無料で1日遊べる！ 動物とのふれあいもできる小倉南区の穴場スポットを視察してきました。

写真 1 2 3 4

◎1958(昭和33)年に福岡県林業試験場小倉分場として開所。その後、改装・整備を経て、1973(昭和48)年に「北九州市総合農事センター」が発足しました。「農業の振興」「市民と農業の接点」「憩いの場の提供」を基本方針として運営されています。広大な芝生広場は7000平方メートルもあり、飲食物の持ち込みが自由なのでピクニックやレクリエーションなどに利用されています。(アルコール類は禁止なので注意)。展望台は敷地全体を見渡すことができ、目の前には小倉のシンボル「足立山」も一望できます。施設内にはトイレが6か所設置され「赤ちゃんの駅」もあり、本館の2階には農業に関する展示室もあります。休憩所や自動販売機も所々にあり、ベビーカーのレンタルもありますので、小さなお子さま連れも安心して一日楽しむことができます。新型コロナの影響により、残念ながらイベントなどは中止が発表されていますが、ウォーキングや花を見るだけでも充分に楽しめる場所です。自然や動物との触れ合い、産直品のお買い物にお出かけしてほしいスポットです。



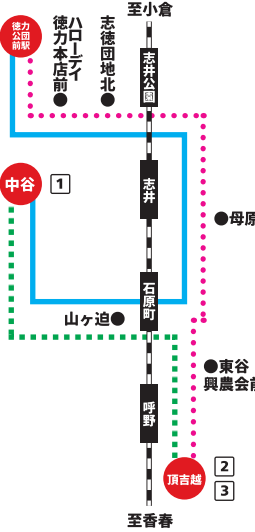
にしてつバスの新路線「東谷～徳力線」

「生活の足の確保」として大活躍！ 小型車両で運行されている「東谷～徳力線」を紹介します。

写真 5 6 7 8

◎北九州市中心部の小倉・砂津から田川市の後藤寺まで直通していた「田川快速」は、利用者の減少により、2017(平成29)年に市街地南部の中谷発着に短縮され、中谷～後藤寺間は2時間に1本程度の運行頻度となりローカルバスとして存続していました。昨年、この区間の路線が廃止され、路線の北半分にあたる中谷から頂吉越(かぐめごし)まで、小型バスによる新路線が10月に開設されました。車両の小型化により路線を維持している東谷～徳力線を大学生とともに視察しました。過疎地域の移動手段(生活の足)を守るため、沿線住民の皆さまはもちろん、未永く路線が維持されるよう観光やハイキングなど多くの皆さまご利用していただきたいと思っています。

行先番号 1 [中谷～山ヶ迫～新道寺～志井車庫～志徳園地北～徳力公園前駅]系統
行先番号 2 [頂吉越～呼野～山ヶ迫～中谷]系統
行先番号 3 [頂吉越～呼野～新道寺～志井車庫～志徳園地北～徳力公園前駅]系統

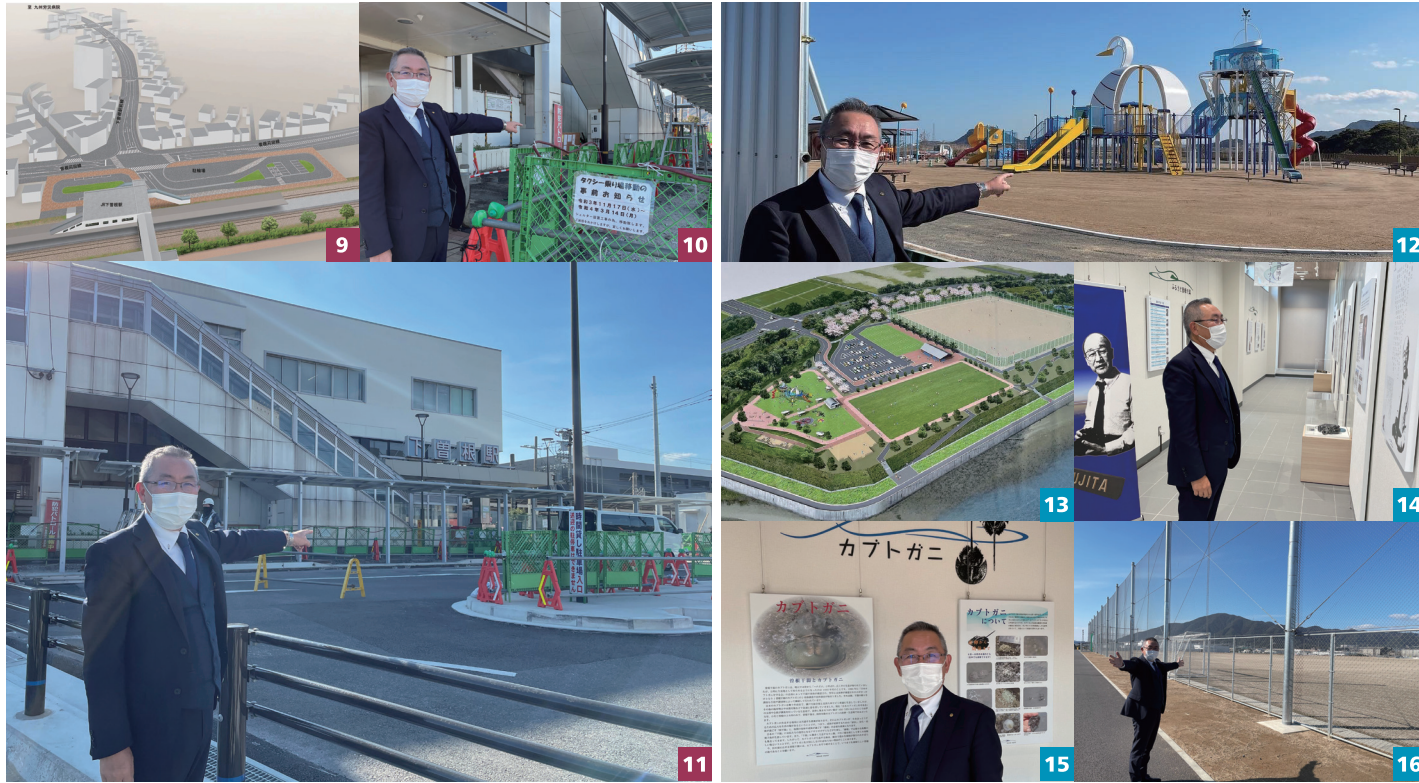


JR下曾根駅北口

完成は2022(令和4)年度中！ JR下曾根駅北口の再整備工事に引き続きご協力ください。

写真 9 10 11

◎JR下曾根駅北口は現在、公共交通機関への乗り継ぎなど利便性を向上させるため、駅前広場の整備と道路の拡幅工事が続いています。一昨年には、長らく工事を進めていた駐輪場裏のロータリーがきれいに整備され、下曾根駅北口から曾根交番前までがつながりました。ロータリーは、以前の2倍以上の広さになった反面、旧駅前広場では車両の停車が可能でしたが、今後は通り抜けしかできないため、送迎時などは注意が必要です。駅前のロータリー内にあったコインパーキングは閉鎖し、新駅前広場に新しくコインパーキングが設置され、自家用車10台分、福祉用車両1台分の駐車スペースが設置され、最初の20分は無料で利用できます。完成図には、駅前交差点には右折レーンが設置され朝夕の慢性的な渋滞も解消されると思います。JR下曾根駅前の整備はまだまだ続きますが完成がとても楽しみです。今後は、駅を中心に整備された北口とサニーサイドモール小倉がある南口との連携で一体的なイベントなどが実施されることが期待されます。小倉南区東部の中心エリアとして今後も発展していく対策に地元の方々と共に取り組んでいきます。



曾根東臨海スポーツ公園が来年度中に公園全体が完成予定！

仲間や家族で楽しめる新スポット！ 「曾根東臨海スポーツ公園」をご存知ですか？

写真 12 13 14 15 16

◎旧北九州空港跡地に整備されている愛称名「曾根東臨海スポーツ公園」は、ソフトボールの大会が開ける多目的グラウンドと、恵まれた自然環境を活かした環境学習の場として整備を進めています。昨年4月29日にはグラウンド、管理棟、駐車場など、一部の利用が開始されました。公園の管理事務所内には、地元・曾根出身の竜巻博士として有名な藤田哲也博士の展示コーナーがあり、竜巻発生装置が置かれ藤田博士の気象学における功績を知ることができます。また、曾根干潟を中心にカブトガニや四季折々の渡り鳥など、曾根地域の特色が紹介された興味深いスペースもあります。多目的グラウンド(正式名称：曾根臨海運動場、面積：約3ヘクタール、規模：170×170m)は、ソフトボール場が4面とれ、他にサッカー、グラウンドゴルフなどの多目的利用ができます。他にも、芝生広場や野鳥観察デッキなど、公園全体の完成は2023(令和5)年3月を目指して、現在、急ピッチで遊具広場(子供用遊具、健康遊具)の工事が進められています。公園からは曾根干潟を望め、完成後は小倉南区東部の新たな親子で楽しめるスポットになること間違えなしです。